



# Live a Happy Life 幸せな人生を送ろう



横浜市青葉区  
もえぎの動物病院  
後藤 秀寛 先生

### - 先生が獣医師を目指された経緯をお聞かせ下さい

小さい頃から動物全般が好きで、自然の多い生き物が沢山いる公園や、動物園によく連れて行ってもらっていました。自分でも金魚や熱帯魚、ザリガニ、ハムスター、リス、モルモットなど、様々な生き物を飼っていて、将来は動物園の飼育係になることが夢でした。  
獣医師になりたいと思ったのは高校生の時です。その頃、父が悪性の胃がんになり、病気を克服する姿を見て、医学に興味を持つようになりました。動物に関わることと、医療、二つの興味が重なる獣医師になろうと決めました。

### - なるほど、お父様にご病気になられてしまったことが先生のスタートだったんですね。

父の闘病中は、標準治療だけではなく、サルノコシカケを煎じたり、イメージ療法を取り入れたり、できることは何でもやっていました。あらゆる治療法が奏功し、今も元気に過ごしています。  
それをきっかけに、私自身も健康に気を使うようになっていきました。一時期、無農薬・無添加にこだわり、動物性食品・精製加工食品を摂らないなど徹底しすぎた結果、添加物が多い食品を摂取した時に、身体が耐えられず、頭痛や吐き気を催すほどになりました。これはやりすぎだと感じ、ほどほどにしようと改めました。

### - 何ごとも中庸がいいのかもしれないね。

そうですね。香港の人たちは漢方を生活に取り入れることで、肉や油の多い食事でも世界一の長寿国ですし、無農薬野菜を自分で栽培して食べている人でも病気になってしまうこともありますし、食事以外にも生活習慣やストレスなど、様々な要因が健康に影響するのだなと、今は思います。

### - 卒業後は臨床の道へ進まれたんですね。

はい。犬猫の診療が中心の、一次診療の病院で勤務医をしていました。その後の開業は、新規ではなく、事業承継での開業を希望しました。開業コンサルタントの方から最初に紹介して頂いた病院が今の病院で、約2か月間の引継ぎ期間を経て、2012年1月に承継しました。

### - 病院としてはどのような症状の患者様が多いですか？

一次診療の病院ですので、予防医療やアンチエイジングを目的とした健康な子はもちろん、皮膚疾患、消化器疾患を始め、高齢化に伴う腫瘍や肝臓病、腎臓病などの慢性疾患をかかえている子も多いです。  
自然療法・代替療法を希望する飼い主様も多く、その中で漢方の処方をする方も多いです。

### - 先生が中医学あるいはQUANPOWにご興味を持たれたきっかけをお聞かせ下さい

統合医療を取り入れ、診療を続けていく中で、椎間板ヘルニアの子の治療効果を上げるために、鍼治療を実践できるようになりたいと思いました。その時に受講した鍼灸セミナーで、QUANPOWを知りました。

### - どのQUANPOW製品を使った際に、これは良いという感触を得られましたか？

どの製剤も効果を実感していますが、例えば、不定愁訴の高齢のワンちゃんに源気、治りにくい膀胱炎の子に通淋・西伯利亞、アトピー性皮膚炎の子に清肌・潤華など、その子の状態に合わせた処方が可能で、効果を実感することが多いです。また、今ある症状を治したら終わりではなく、その先の養生まで踏み込んで提案することができるので、QUANPOWはお勧めしやすいです。当院のコンセプトである“Live a Happy Life (幸せな人生を送ろう)”という考えに通じるところもあり、数多くの飼い主様に共感して頂いてるのではないかと思います。

### - 最近、良かった症例をご紹介頂けませんか？

僕が勤務医時代から一緒に暮らしている愛犬 (ポメラニアン 8歳 去勢済みオス) にも QUANPOW を取り入れています。  
1歳の頃から咳が多く、気管虚脱がありました。(2016年8月) 6歳の時、興奮しすぎたことがきっかけで呼吸困難になり、チアノーゼもひどく、死ぬ寸前の状態になりました。ICUに入れて緊急治療を行い、何とか一命は取り留めましたが、その後も咳や呼吸状態が悪くなることもありましたが、専門病院での手術を検討しましたが、まずは体への負担を考え、西洋薬と共に、QUANPOW の源気、露華、三仙を継続しました。



レントゲン (1) 6歳5ヶ月頃 呼吸困難になった頃の写真で、気管がつぶれて細くなっています。通常の呼吸も苦しい状態で、様々な内科治療をし、要経過観察中です。興奮しない様、外出は避け、可能な限り酸素室で過ごす等、生活に気を付けて過ごしています。



レントゲン (2) 8歳11ヶ月頃 気管の太さが改善しました。  
内科治療を継続し、QUANPOW の源気、三仙、露華を飲み続けています。今も咳は少しありますが、呼吸は普段通りにでき、健康そのものです。



気虚になり気管の弾力が低下してしまった状態から、補気健脾の効果で病態を大きく改善できました。  
この事で QUANPOW をとても信頼するようになりました。

### - 飼い主様にQUANPOW製品をお勧めされる際の方法についてお聞かせ下さい。

繰り返す膀胱炎、コントロールが難しいてんかん、ガンや肝臓病・腎臓病などの慢性疾患、高齢ペットの治療の場合など、西洋薬での治療に加えて、いくつかの自然療法を選択肢の1つとしてご提案しています。  
その際に QUANPOW の製品紹介パンフレットをお渡しして簡単な説明を行い、興味を持ってくれた方に処方しています。

### - 先生の感じる中医学診療のメリットをお聞かせ下さい

その子その子に合わせたオーダーメイドの組み合わせができることです。また漢方というと、飼い主様の印象が良いことが多いこともメリットです。  
鍼との組み合わせなどで治療効果が高くなり、ワンちゃんネコちゃんは元気になり、飼い主様に喜ばれ、遠方から来てくれる方も多くなりました。

### - 先生がやりがいを感じるのはどのような時でしょうか？

ペットと飼い主様双方の、元気な笑顔を取り戻す場面に立ち会えることが臨床現場の最も良いところですね。もちろん寿命はありますので、亡くなってしまったと連絡をいただくこともありますが、生前の治療に感謝して頂き、次に飼った子も連れてきてくれた時なども嬉しいです。日々やりがいを感じながら、仕事をしています。

### - 今後の夢や目標をお聞かせ下さい

これからも勉強し続け、より治療効果をあげられるようになりたいです。また、私には娘が2人いるのですが、獣医師として、大人として、子供達から尊敬される父親になることも目標です。私が開業している横浜市青葉区は男性の長寿日本一ですし、自分自身はもちろん、家族、そして当院に来てくださっている飼い主様・ワンちゃんネコちゃん、皆の Live a Happy Life に貢献していきたいです。